

渋谷区長選挙 公開討論会 政策比較表

基本的な考え方

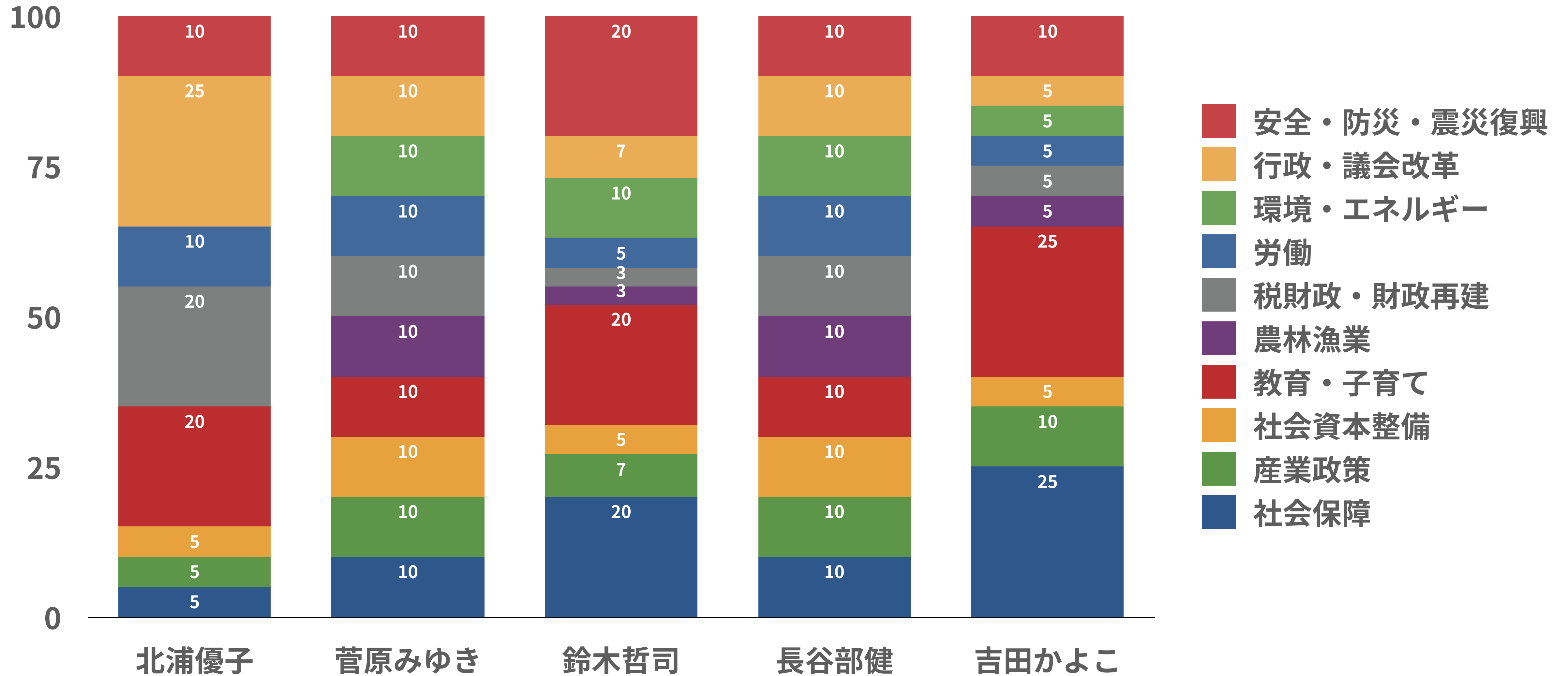
	北浦優子	菅原みゆき	鈴木哲司	長谷部健	吉田かよこ
区のめざすべき将来像	安定した行政運営が行えている上で行政のスリム化を推進し、区民が区役所に行かなくても各種行政サービスが受けられる環境。また、人口減少が見込まれている渋谷区において、積極的に次世代への投資を徹底できる環境、高齢者を大切にできる環境にあること。	あらゆるカルト被害の無い安全安心に暮らせる渋谷、渋谷で生まれ育った子供たちが渋谷の未来に希望を持ち継承、創造を千代に八千代につながる渋谷を目指します	行政とは在住者や本社を置く企業から税金を頂き成り立つ。納めて頂いた税金の還元が目的の公僕である。カッコいい先端イメージの渋谷は民間が進めて下さっている。安全、安心な渋谷区にする。地に足のついた行政サービスこそが必要。十年程前、新聞や雑誌で評価頂いた「行政サービスが日本一の渋谷区」を取り戻していく。	「ちがいを ちからに に変える街。渋谷区」「シティプライドが集まる街」	時代がかわっても行政機関の役割は全ての人々が人として尊重され幸せを実現できるまちにすることである。
区の現状認識	ハコモノ建設や土地開発偏重の財政支出が続いた。大型公共事業の必要性については人口減少による税収入減を想定しながら慎重に検討しなければならない。民間の経営感覚を取り入れた行財政改革や身を切る改革で財政の健全化に努める。	渋谷区には旧統一教会の日本における本部があり、多くの日本人被害が現在進行形で出ているにもかかわらず、区民を守る立場の区長や区議が旧統一教会問題に触れていません。	都市の脆弱な防災を改善すべき。また横文字政策でNPOや外郭団体を介しトップダウン施策を進めているが現状と乖離。若者のまち渋谷の区民は1/4高齢者。また全体の65%単身世帯で人との繋がりが希薄化。マスコミは報じないが日本は多死時代。昨年1年間で約158万人死亡。またワクチン政策は見直し後遺障害者も救済すべき。	渋谷区の高齢者福祉事業は23区トップレベルにあり、引き続き、維持拡大を図っていきます。また、子育て環境もこの8年間で整備されてきました。現在は、コロナ禍も終息に向かいつつあり、地域のコミュニティ活動も再開し始めています。地域経済の活性化を目指したハチペイも機能し始めています。	「ちがいをちからに変える街。渋谷区」の標語は立派だが、街にかかわる人が一人残らず自分の人生を謳歌出来ているとは思わない。渋谷駅周辺は再開発でバリアフリーどころか迷子が続出、使いづらいつらな駅になってしまった。デジタルデバイド事業は行ってもハチペイの恩恵を受けられず高齢者が取り残されて行っているのが現状だ。
区の解決したい課題	区長の多選や区長の報酬、退職金に関する条例を見直し区長の身分を変える。今、区民生活が厳しい中、区長だけがおいしい思いをすることはおかしい。今こそ、区民の可処分所得を増やす政策を前に進め、特別区民税の現在を推し進めます。	旧統一教会の本部解体	大災害に備えたい。都市ゆえの危険な箇所や設備の改善。消防機関と連携し超高層ビル等には定期的な防災訓練を。一向に進まぬ電信柱の地中化は急務。団塊世代が後期高齢者の年齢に。更に渋谷区は65%が単身世帯。報じられない深刻な孤独死も増加。また十代の自殺が過去最高。大切な子供たちに寄り添い問題解決を図りたい。	戦後の人口増加と同時に建てられた公共施設（学校、区民会館等）が、ここから10年くらいの中に、一気に老朽化した建築物として位置付けられてきます。大変大きな課題ですが、未来の渋谷区を考えた上で、学校を子どもから高齢者まで、地域のコミュニティの核として機能する公共空間として発展させることで、この課題に挑んでいきたいです。	予算の抜本的な組み替えを行う。事業者を支払う予算ばかりが増加しているため区民に直接利益を還元できる予算編成にして行く。

※左から五十音順で記載しています。

※立候補予定者へヒアリングシートを送付し、回答が得られたものをもとに2023年4月11日現在で作成しました。

渋谷区長選挙 公開討論会 政策比較表

政策分野の注力度(予算を100ポイント持っているとしたときに、各分野への配分)



※左から五十音順で記載しています。

※立候補予定者へヒアリングシートを送付し、回答が得られたものをもとに2023年4月11日現在で作成しました。

渋谷区長選挙 公開討論会 政策比較表

課題を解決するための重要政策 第1優先(「政策分野の注力度」の中で選ぶ)

	北浦優子	菅原みゆき	鈴木哲司	長谷部健	吉田かよこ
政策分野	行政・議会改革	安全・防災・震災復興	安全・防災・震災復興	福祉	税財政・財政再建
目標数値	議会予算を30%削減			23区トップレベルの維持、拡大	
期限	2年		4年※期限は任期4年だと推定。	将来に渡って	
予算				維持拡大	
手段	まずは区長の退職金は辞退。報酬は5割カットし行財政改革への覚悟を示します。また、議会や行政の古い慣例、慣習をぶち壊し区民のためになる制度に作り替えていきます。	反カルト条例制定	ハザードマップ全面見直し。防災ハンドブックは定期的に刷新し全戸配布。帰宅困難者も含め区内の避難所の環境水準向上。避難所開設する町会等との連携で取り残さない支援。避難所は学校や公園。電子鍵（停電で止まる）トイレではなく防災倉庫を増やす。学校に防災教育予算を拡充。職員採用に「危機管理専門官」の採用枠を設ける。	特養やグループホーム、障がい者施設の増設	膨らんだ予算を精査し、予算のスリム化を行うことで、区民に必要な事業に予算をあてていく 専門家へ依頼して3年以内に解決していきたい。

※左から五十音順で記載しています。

※立候補予定者へヒアリングシートを送付し、回答が得られたものをもとに2023年4月11日現在で作成しました。

渋谷区長選挙 公開討論会 政策比較表

課題を解決するための重要政策 第2優先(「政策分野の注力度」の中で選ぶ)

	北浦優子	菅原みゆき	鈴木哲司	長谷部健	吉田かよこ
政策分野	教育・子育て	教育・子育て	社会保障	教育・子育て	教育・子育て
目標数値				区内小中学校22校の建て替え	
期限	1年		2年※期限は任期4年だと推定。	20年間	早急に
予算	10億円			20年で2000億円以上	4億2000万
手段	まずは学校給食の完全無償化を最短で実現します。また、出産祝い金制度を新設し子ども一人当たり10万円を支給。区内主要駅前に送迎保育ステーションを設置し子どもの送迎にかかる負担を軽減させます。	区立小中学校の給食費無償化、給付型奨学金制度新設、町の文化の要でもある渋谷図書館を耐震補強の上再開します。	「終活支援センター」を新設する。かつてない早さの「多死時代」へ対応。施設や病院新設の箱ものは間に合わない。民生委員や医療介護専門職、看取り士と連携をし尊厳のある死を。見送る命に礼を尽くす。また早い年齢から定期改変する遺言作成は家族のためである。安心できる行政サービスとして渋谷区から日本中へ。	立て直し計画スケジュールと、新たな学びの場の探究、地域コミュニティとしての機能 未来の学校のPR	給食費の無償化をはじめとする高校生までの教育費と区所有施設の負担軽減。 給食費にかかる材料費等を区が負担する。保護者からの徴収をストップする。

※左から五十音順で記載しています。

※立候補予定者へヒアリングシートを送付し、回答が得られたものをもとに2023年4月11日現在で作成しました。

渋谷区長選挙 公開討論会 政策比較表

課題を解決するための重要政策 第3優先(「政策分野の注力度」の中で選ぶ)

	北浦優子	菅原みゆき	鈴木哲司	長谷部健	吉田かよこ
政策分野	税財政・財政再建	社会保障	教育・子育て	社会資本整備	社会保障
目標数値				ササハタハツの活性化	
期限	4年		3年※期限は任期4年だと推定。	4年	
予算				拡大	10億
手段	<p>区民の可処分所得を増やす政策を進めます。具体的には、行財政改革を全力で推進し行政のムダを徹底的に見直します。「選択と集中」で政策を適宜見直します。生み出した財源の分は区民に還元(減税)します。</p>	<p>生活保護捕捉率100% 区長権限で実行、未収税金の徴収を保留し生活の立て直しをすすめるために税理士やファイナンシャルプランナーを要して再び納税者となる支援を行う</p>	<p>「子供まんなか渋谷区」食の重要性から学校給食を無償化。子供の自殺防止に区立小中にカウンセリಂಗルーム設置やスクールロイヤ一巡回で医療的、法的解決を図る。いじめ防止は最優先。区長部に「監察課」を置く。対応できる警察OBの学校安全主任制度等の導入で子供達を守る。</p>	<p>緑道整備、水道道路の活用方法の検討、商店街振興、スタートアップ等との社会実験</p>	<p>東京都ではお米券の支給を行っているが住民税非課税世帯と家計急変家庭に限られる そのため、所得基準を上げて、生活保護世帯並みの世帯にも地元商店街を活用して米や野菜などの提供を行う。配送も対応。</p>

※左から五十音順で記載しています。

※立候補予定者へヒアリングシートを送付し、回答が得られたものをもとに2023年4月11日現在で作成しました。

渋谷区長選挙 公開討論会 政策比較表

その他アンケート

	北浦優子	菅原みゆき	鈴木哲司	長谷部健	吉田かよこ
問1 ご自身の一歩の特徴やPRポイントを教えてください。	誰よりも市民目線です。また、渋谷生まれ渋谷育ちであることから地域に寄り添った政策を前へ進めます。	利権が無い、縦横のしがらみもないのでクリーンな区政を行える	私は大学教授として救急救命士を育てて参り、また渋谷との縁をくれた國學院大學卒の神職でもあります。命を救い見送る半生で、危機管理の専門家として我が町渋谷を安全に。命を最優先にした行政サービスを致します	渋谷区生まれのローカル、無所属で政治活動、あえて言えば渋谷区党、課題に対してポジティブなアイデアで挑むこと、健康	区議会議員16年、税理士32年の経験があることが強み。経営者経験、経営者支援経験が長いので、事業の適正価格、経費の使い方等の検証を行っていきける。税金を区民のために効果的に使っていく。
問2 渋谷区が一番好きなのところを教えてください。	住みよい住宅街と、神宮や代々木公園のような豊かな自然。様々な顔がある渋谷が好きです。	全国の地方都市が憧れる高級住宅街 松濤、広尾、代官山がある中で住民に親しんだ商店街が生き残っているところに魅力を感じます。地方は大店法により地元商店街を潰されたので	一番は選べません。都心ながら明治神宮の杜や小さなホッとする公園。緑茂る神社仏閣は人々を見守っている。超高層ビルや商業施設は自慢すべき民間の力。同時に昔ながらの商店街も残り人情がある我が町です。	多様な価値観が認められ、調和しながら新しい価値や文化が生まれる街 代々木公園、明治神宮が区の一部にあり、緑に恵まれた環境	交通の便が良いところ、住宅街としてきちんと地域として残っていること。町会、商店街の方々の努力によって、歴史あるお祭りなどの事業も継続出来ているところ。
問3 ご自身の最重要政策を実施するための財源をどのように考えているか教えてください。	「選択と集中」で現在ある事業を見直します。こういったいわゆる行財政改革で財源を生み出します。	旧統一教会解体では、反カルト条例を制定し、渋谷区独自に課税を強化しその財源で信者救済にあて、法定外普通税もしくは特別税を制定しパチンコ店舗に課税をし、その財源は子供たちの支援に充てます。もちろん、予算の見直しも行います。	昨年、渋谷区はコロナ禍でも1100億の税収。大切な財源は優先順位で決定。予定している事業であれば、全体を見直し適正価格であるかの見直し。区の事業に随契が多すぎる。業者再認定や不要な事業は取り止める。	DX推進、民間活用、公共資産の運用	区民の利益につながらない事業の廃止、見直しを行い、税金の使途の透明性を高める、官民連携事業の検証、各事業の区民満足度と費用の適正性を検証、事業のスリム化と区民ニーズにそった抜本的な予算の組替えを行うことによって財源を捻出する。

※左から五十音順で記載しています。

※立候補予定者へヒアリングシートを送付し、回答が得られたものをもとに2023年4月11日現在で作成しました。

渋谷区長選挙 公開討論会 政策比較表

その他アンケート

	北浦優子	菅原みゆき	鈴木哲司	長谷部健	吉田かよこ
問4 物価高騰に対する具体的な施策や考えを教えてください。	子どもに対する支援（出産に係る支援や送迎負担軽減等）や行財政改革の徹底。地域経済を活性化させること。あとは減税。	この度の物価高騰は世界情勢からなる高騰で一過性ではないので、継続的な支援が必要になります。本来は通貨発行権がある国が国民を救うため減税を徹底的に行うところ区政では財源確保は必要ですが、非課税世帯を除く低所得者、高齢者、子育て世代の区税の引き下げ、免除やプレミアム商品券の活用を考えています。	行政は利益を出す組織ではない。頂いた財源をどう還元するか？である。職員には緊縮財政という認識を持たせ徹底的に無駄を省く。一方、区営施設の利用料等は据え置き。スポーツ教室や図書館などで地域の交流を持って頂く。	対策として最重要である賃金の上昇については、区としての対応には限りがあります。渋谷区としては、ハチペイを普及させ、常時8%バックを続け、地域経済活性化の支援を行っていきます。	東京都が支援しきれていない、幅広く多くの区民の皆さんに対して、区独自として、支援を行っていく。電子マネーでなく、だれもがその支援を受けられる、区民平等の支援策を行う。事業者に対しても、物価高騰を価格転嫁できない飲食店等に対して、相談体制の強化、区からの融資の返済猶予を行う等の支援を行っていく。
問5 世界中から大勢の多様な人が集まる渋谷区だからこそ、区長になった際に取り組んでいきたいことはありますか。	多様性を尊重できる町。	渋谷の町、住民を守るためにはシンガポールのような厳しい法整備（条例）が必要と考えます。インバウンドの危うさは3年前の武漢肺炎で学んだはずなのに 観光収益を当てにする貧国となった日本を嘆きます。外国人観光客には新たな課税を考えます。	治安維持と大規模災害時の準備が急務。来訪外国人へゴミ捨て禁止の各国語看板等を作成。在住外国人には懸念項目の調査を行い医療、法律相談を可能に。社会的少数派への偏見は許されないが極端な啓蒙講習は見直し。	海外からのスタートアップ先進都市として、注目を浴びつつある渋谷区として、渋谷区の魅力をしっかりとアピールしていきたいです。また、区民にメリットを還元できる海外都市交流も取り組んでいきます。	ハロウィンに関しても、世界から多くの人が集まる渋谷ならではの問題であり、その対策に対して、渋谷区の税金を多額にかけていくべきでないから、渋谷だけで対応を行うのではなく、東京都と警視庁と連携を行っていく。そのためにも、警察の連携体制をとるために、東京都と連携をはかりイベント化を行っていく。

※左から五十音順で記載しています。

※立候補予定者へヒアリングシートを送付し、回答が得られたものをもとに2023年4月11日現在で作成しました。